

# JBNサポートセンター・レポート

Japan Builders Network

発行人: 青木宏之  
©JBNサポートセンター 禁断断転載

P1 JBN全国大会 2013 を成功させよう  
P2 大会・分科会「5つの新たな市場展開」  
P3 前月の活動報告・事務局ダイアリー  
P4 JBNの沿革、組織

P5 第5期 事業報告概要  
P6 長期優良住宅の普及のためのサポート体制の整備  
P7 情報の発信・交流活動  
P8 JBNサポートセンターの刊行物

2013.September  
No.50  
9月  
大会準備特別号

JBN・工務店サポートセンターの刊行物最新のものから降順

No.	タイトル	発行年月
44	報告書(ハイブリッド型/合わせ梁型トラス梁・合板SSP)	2013年3月
43	中大規模木造建築物の設計施工マニュアル	2013年3月
42	既存住宅の性能向上リフォーム 一耐震・断熱で生まれ変わる家	2013年2月
41	性能向上リフォームで生まれ変わる家(消費者向けパンフレット)	2013年2月
40	木造建築士資格研修テキスト・平成25年度版	2013年2月
39	応急仮設木造住宅建設等を目的とした災害協定の締結にむけて	2012年10月
38	JBN長期優良住宅(申請マニュアル)	2012年10月
37	木造住宅の構造計画 長期優良住宅の設計マニュアル	2012年11月
36	長期優良住宅壁量計算の実務(耐震等級2の解説と演習)	2012年11月
35	木造軸組工法による省令準耐火構造の住宅	2012年9月
34	同上 特記仕様書・仕様概要一覧表・設計施工チェックシート	2012年9月
33	JBN認定品質住宅(保険法人各社適用要領)	2012年4月
32	長持ちする家づくりのすすめ 地域のJBN工務店がつくる長期優良住宅(顧客向け)	2012年4月
31	木造建築士資格研修テキスト・平成24年度版	2012年3月
30	地域工務店のための「防耐火性能の高い木造住宅の設計・施工指針」	2012年2月
29	同上 特記仕様書・設計施工チェックシート	2012年4月
28	住宅改修の工事記録写真	2012年2月
27	バリアフリー改修から始める住まい快適リフォーム-指針-事例集-	2011年4月
26	手刻みの基本(軸組編)	2012年1月
25	長期ちきゅう住宅国産材モデル型式認定(手刻み型)工法利用マニュアル・構造の安定	2011年12月
24	いえもり・かると(顧客向けパンフレット)	2011年10月
23	型式マニュアル(解説編・申請編)	2011年10月
22	省令準耐火構造 設計施工マニュアル	2011年8月
21	木造住宅・工事管理の実務	2011年7月
20	JBN既存適合住宅 建物診断マニュアル	2011年7月
19	東日本大震災対策本部 応急仮設活動報告	2011年7月
18	空き家対策はお済みですか? JBN既存適合住宅制度のご案内	2011年7月
17	その価値を活かせる家にしませんか「長期優良住宅」のご案内	2011年6月
16	住まいの管理手帳 戸建編JBN版DVD	2011年3月
15	工務店の現状の実態についてのアンケート調査報告書	2011年3月
14	バリアフリー改修から始める住まい快適リフォーム	2011年3月
13	国産材でマンション・リフォーム	2011年3月
12	長期 申請マニュアル(オレンジ)	2011年3月
11	木造建築士資格研修テキスト・平成23年度版	2011年2月
10	長期優良住宅建材マニュアル①(構造編)	2011年1月
9	長期優良住宅建材マニュアル②(省エネ編)	2011年1月
8	住まいの管理手帳 戸建編 JBN版	2010年11月
7	木造軸組工法住宅のスパン表	2010年11月
6	長期・ちきゅう住宅	2010年3月
5	展示住宅ガイドブック	2010年3月
4	木造建築士資格研修テキスト・平成22年度版	2010年2月
3	長期優良住宅マニュアル(住宅履歴編)	2009年9月
2	長期優良住宅マニュアル(建材編)	2009年8月
1	木造建築士資格研修テキスト・初版	2009年5月

主な刊行物の表紙一覧(右下の数字は刊行物リストのNo.)

**JBN 会員登録募集**  
全国の工務店の力を結集するための組織がJBNです。「地域から必要とされ、信頼される工務店」のためにサポートセンターがさまざまな面から支援します。

暮節記(ぼやき)

この夏の気象は異常だった。大雨では「これまでに経験をしたことのない」という表現が度々使われていた。特別の警戒を呼び掛ける表現だというのが、経験したことがない事態を想定できる能力にはかなりの個人差があるように思われる。この特別号で本誌は50号という節目を迎えた。増刊の特別号は、今回で4回目となる。一年を総括する年報的な位置づけだが、昨年9月号と兼ねることになった。増刊とする手間、コストを省くこともあったが、活動の少ない夏休み期間は誌面にも編集作業にも余裕があるという読みもあった。だが、この夏はそうではなかった。全国組織となり、大会の企画をはじめ経験したことのない準備などに追われた。総括のためバックナンバーや関連資料に目を通して、活動の広がりや情報の膨らみに唖った。系統だて、関連付けの必要性を感じながらも、細かな誤字や齟齬の修正を加えるにとどまった。未来を語り、新しい歴史を刻むためにも自らの情報の点検と活用は欠かせないのだが。(F)

●発行/お問い合わせ  
一般社団法人 JBN・サポートセンター

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階  
TEL.03-5540-6678 FAX.03-5540-6679  
E-mail: jbn@jbn-support.jp homepage: http://www.jbn-support.jp  
発行人: 青木宏之 ©JBNサポートセンター 禁断断転載



FSC® 森林認証紙と植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しました。

地域工務店の未来を語ろう

一般社団法人JBN会長 青木 宏之

JBNも5周年を迎え、昨年に名称変更とともに大幅な定款改定、組織改正を行い、サポートセンターから地域工務店の全国組織JBNに生まれ変わりました。工務店が地域住宅産業の主役として生き残るための技術力・企画力の向上を支援するために設立されたのが「工務店による工務店のための組織」JBNです。今回の全国大会の意義は、JBNが日本一の全国組織であることを認識する場であり、各自がJBN会員であることを自覚し、JBNが国と地域に役に立つ組織であることをアピールする場です。あわせて「大工エキスパートJBNマスターズ」を開催し、危機的状況にある大工技能者問題を確認する場にもしたいと思います。また、3日目の分科会ではこれからの地域工務店の取組むべき、ニュービジネス5つについて各委員会の成果をゲストコメンテーターと共に考える場にしたいと思います。JBN会員及び関係者の皆様、広島に集合し「地域工務店の未来」について語り合しましょう。

JBN全国大会in 広島 2013「工務店宣言」

2013年改定

- (私たちは)  
1.日本の木で、日本の技(わざ)で、日本の家を造ります。  
(私たちは)  
2.環境に気を配り、負荷をかけない住まいを造ります。  
(私たちは)  
3.長く住み継がれ、資産となる住いを造ります。  
(私たちは)  
4.地域の住まいと生活を、しっかりと守り、支えます。  
(私たちは)  
5.技術、技能に優れた人材を育て、活躍できる業界を目指します。  
(私たちは)  
6.次世代が自信と誇りを持ち、地域から信頼される業界を目指します。  
(私たちは)  
7.安心・安全で、豊かな住生活のため、政策を支え、働きかけを行います。

新しい歴史をみんなで刻もう

一般社団法人広島県工務店協会会長 河井 英勝

広島県の工務店を代表し歓迎のご挨拶を申し上げます。日本一の全国工務店組織JBNの全国大会を広島で開催出来ますことは、誠にありがたく喜びに堪えません。広島では、官民挙げて歓迎いたします。今大会は地球温暖化問題や低炭素社会の実現及び省エネルギー住宅実現への取り組みとして、地域材を活用した木造建築の普及と拡大こそが最も効果的な取り組みであることを内外に力強く発信し、担い手である全国の地域工務店が一同に会し情報交換すること、また、この活動を支えて下さる関係業界の力強いご支援の様子を内外の関係者および一般ユーザーの方にもご覧いただける絶好の機会です。全国の地域工務店が集うイベントは、実質的には今回が日本の歴史上初めてだと思います。この活動を盛り上げるためには、JBNの拡大発展と、主役である皆様方の力強いご参加・ご支援が絶対に必要です。お誘い合せの上、お一人でも多くご来広下さるようお願いいたします。

JBN全国大会 in 広島

～地域工務店の新たな市場展開を目指して～

日時 11月13日(水) 14日(木) 15日(金)  
会場 グランドプリンスホテル広島  
主催 一般社団法人 JBN 一般社団法人 広島県工務店協会

全日程・大会プログラム

□第1回 大工エキスパートJBNマスターズ	13日(水) 12:30～	開会式・説明	13:00～17:30	競技
	14日(木) 8:00～11:30	競技	11:30～	競技審査
□第5回 JBN全国大会 (設立5周年記念)	14日(木) 13:00～15:00	大会式典		
□基調講演	14日(木) 15:30～17:00	[200年住宅と地域工務店(仮)] 福田康夫元総理		
□協力会員展示コーナー・説明	14日(木) 11:00～18:30	15日(金) 8:30～12:00		
□懇親会	14日(木) 18:30～20:30			
□分科会・サブテーマ「5つの新たな市場展開」	15日(金) 9:00～12:00	(詳細2ページ)		
□エクスカージョン	15日(金) 13:00～	日帰りコース/1泊コース 宮島・錦帯橋ほか		
		参加費:大会(式典・基調講演・分科会)+懇親会 1名15,000円 大会(式典・基調講演・分科会)のみ 1名10,000円 (懇親会のみ1名10,000円)		
		宿 泊:希望者に、JTBより案内 エクスカージョン参加費:別料金		

### 大会・分科会「5つの新たな市場展開」

5会場に分かれ、各テーマごとにゲスト・コメンテーターによる基調提言と関係者による討論を予定しています。それぞれの分科会を担当する委員長にテーマとキーワード、次のポイントについてコメントいただきました。

- ①分科会でとくに訴えたいこと 一地域の工務店、消費者に対して
- ②これまでの委員会の主な活動・成果物と効果
- ③テーマに関連して、今後、委員会としての取り組み方針と課題

#### ■第1分科会

##### 地域ネットワークの構築と「地域型住宅のブランド化」～新たなリーダーとしての地域工務店～

(キーワード) 山から消費者まで、地域ブランド、連携、地域リーダー、受注



次世代の委員長 鈴木晴之

- ①地域ならではの家づくりと細やかな対応が出来る工務店が、材から加工、現場施工までの連携をつくり、地域型住宅のブランドを構築して地域の家づくりの主役になる為に、全国大会の会場である広島での取り組みなどを例にとり、工務店から出来る事を皆さんで考え、安定受注に繋げるためのディスカッションを行いたい。地域を知っている工務店と、材から消費者まで顔が見える連携があるからこそ出来ることを訴えたい。
- ②北海道から沖縄までの様々な地域の住宅と工務店、住宅関連の視察を行う。また、異業種との交流や講演を開催し、会メンバーの知識と情報を深めたい。そして地域団体や国、自治体と意見交換を行った。国の委員会や他団体の会などにJBNとして積極的に参加し、意見交流を行った。省エネ講習の講師として次世代の会から多く参加し、全国の工務店力アップに協力してきた。会の特性として形のあるものは無いが、工務店が住宅産業の主役となるような様々な取り組みに参加している。
- ③一つのテーマにとらわれず、常に大きな視点で工務店業界を考えていく事が必要だと思っています。今回も大きなテーマではありますが、今後も変わっていく世の中の情報を捉え、常に新しいテーマに向かって行きたいと考えています。課題は、実務に追われ忙しい世代なのに、様々な事に参加している負担をどう減らすか。

- ゲスト・コメンテーター 安藤直人氏(東京大学大学院特任教授)
- 協カメディア 日刊木材新聞社

#### ■第2分科会

##### 地域工務店が拓くこれからのリフォーム～リフォームビジネスの5つの方法～

(キーワード) 実践を踏まえた討論、大切にしたい住まい、市場展開、役割と可能性、改修のあり方



既存改修委員長 玉置敏子

- ①営繕修理だけでなくビジネスを定着させていくために、様々な目線で地域の工務店にとって何が可能でどんな方法がいいのか。ディスカッションしながら、そのヒントを掴んでほしい。建物維持管理していくには、住まい手自らできること、工務店とともに進んでいくことがあります。その結果、さまざまな形のリフォームが生まれるはずだ。
- ②バリアフリー・耐震・温熱化・性能向上などテーマ別にそれぞれの地域の気候や風土のなかで特化している工務店とヒアリングをし、考え方、技術、工法の実例集としてまとめてきました。これら成果物をもとに講習会という形で地域工務店に普及活動をしてきたなかで、確実にリフォームの効果、必要性を理解していただけたと思う。
- ③リフォームの考え方、技術に関すること、設計施工基準などの研鑽を積むとともに工務店が市場展開していくために、継続的に取り組むビジネスとするために、状況や問題点の発掘をし、情報やガイドラインの提供が出来る様活動していきます。消費者のニーズや考え方を把握することが、リフォーム市場展開を論じる上で大事であり、工務店ありきの市場ではないことを理解し、広く情報収集し、問題分析をし、これからの方向を間違わないようにしていかなければならない。

- ゲスト・コメンテーター 今井信博氏(現代計画研究所代表取締役)
- 協カメディア 日本住宅新聞社

#### ■第3分科会

##### 地域工務店ならではの省エネ住宅仕様の先進事例を学びつくす～事例集配布。多くの事例から自社にもっとも合った省エネ仕様をゲット～

(キーワード) 認定低炭素住宅、一次消費エネルギー、省エネ躯体、省エネと創エネ、健康住宅



環境委員長 安成信次

- ①地域工務店は「自社・省エネ住宅の確立」をしていないところがほとんどです。一方、プレハブメーカーは10月から省エネ住宅の自主表示制度を開始すると言われています。そこで、さまざまな工務店の先行事例を学び、多くの事例集から自社の省エネ仕様を作り上げるきっかけになる分科会とします。地域工務店でも省エネ住宅やスマートハウスにきっちり対応できるとことをアピールします。
- ②省CO<sub>2</sub>先進事業に採択されたJBN会員企業7社(延べ9社)。住宅のゼロエネルギー化推進事業(ZEH)採択、多数。委員会をオープン形式で開

催してきたため、これまでの参加者は延べ100社に及び。参加工務店は先行事例を学ぶことで自社の省エネ住宅構築を進めることができた。

③JBNの会員の中でも省エネ住宅に先進的に取り組んでいる会社が多く集まっているのが環境委員会。それらの先行事例をパターン化し、会員工務店へフィードバックするのが平成25年以降の委員会方針です。フィードバックの方法論。事例集の作成とその勉強会の全国開催が課題。

○ゲスト・コメンテーター 秋元孝之氏(芝浦工業大学工学部教授)

○協カメディア 創樹社(ハウジングトリビューン)

#### ■第4分科会

##### われわれ地域工務店は大規模木造建築の市場にどう参入するか

(キーワード) 中大規模木造、地域材、地域工務店の技術、コスト比較、公共施設と商業施設



大規模木造研究委員長 山田貴敬

- ①中型・大型木造建築の市場は、地域工務店が新たに取り組む分野です。とはいっても、横架材にどの部材を使うといいのか? 構造計画は? 構造計算は? 疑問は尽きません。こういった疑問を解決するための分科会です。木造建築は、もっとも環境に負荷をかけない工法であることが広く知られるようになってきました。法律や各種の研究も中型・大型木造建築の普及を後押ししています。減価償却、解体費用の面でも優等生になっています。
- ②一般に流通している製材(杉)をつかった8メートルの木造トラスを製作し、強度実験を済ませています。地域工務店が作成可能なものです。成果報告を聞いたJBN会員から、この木造トラスを実際に使い倉庫を造る話が出てきました。今年度中に竣工します。
- ③昨年度の成果をJBN会員に普及していく。WGを立ち上げ、JBN会員より、中・大規模木造建築についての問い合わせ窓口を設置、普及を目的としたパンフレットの作成、研修会の開催。JBN会員への中・大規模木造建築物の知識、技術の普及が課題。

- ゲスト・コメンテーター 腰原幹雄氏(東京大学生産技術研究所教授)
- 協カメディア 新建ハウジング

#### ■第5分科会

##### 中古住宅流通が生み出す地域工務店の新ビジネス

(キーワード) 建築と不動産のワンストップサービス、不動産アレルギーを外すには、建築と不動産のスピード感解消法、瑕疵保険とインスペクションの活用方法、地域活性化



中古住宅流通WG分科会長 坂下祐一

- ①今後、我々の生き残りには、不動産業者・建築業者の垣根を越えた協働、あるいはワンストップによる消費者へより良いサービスの提供が必須となります。最終的にはタウンマネジメントをめざそうではありませんか? 地域工務店が不動産業へ介入する事で、よりお客様目線でのスムーズで安心なサービス提供が可能となり、さらには地域活性化へと導くこととなります。
  - ②先進事例の現地調査、関係者ヒアリング議論を重ね、地域や会社規模によりマッチする形が異なることから、それぞれの特性に応じて新ビジネスに取り組むこととなるが、工務店が不動産業者への提案により契約までのスピードが上がった。
  - ③WG参加 4社がそれぞれの形で中古住宅流通とリフォームを一体化したビジネスに実際取り組み、経過検証・修正により、それぞれの地域にあったビジネスモデルを構築する。実際、地域工務店の新ビジネス構築へは、地域をより細分化する必要があると考えられるが、最大の障害は不動産業者の考え方。
- ゲスト・コメンテーター 安達功氏(日経BP社プロデューサー)
- 協カメディア 日経ホームビルダー

#### 第1回 大工エキスパート JBNマスターズ大会 出場選手エントリー終了

JBNが信条とする「日本の木で、日本の技で、日本の家」づくりを支える大工エキスパートが優れた技能と技術を磨き、競いあうことを通じて、これからの地域工務店の重要なスタッフとして、その育成と活躍を促すことを目的として開催されます。競技会場は一般にも公開し、JBN工務店が雇用している大工技能の水準も含め、彼らの働き(技)によってつくられている木造住宅のレベル(納まり、仕上げの質など)を写真、動画なども展示し、業界全国組織として「ものづくり」、「ひとづくり」に取り組んでいることを社会に対し、広くアピールする機会とします。

競技は、新人部門とリーダー部門に分かれ、建築大工技能士の技能検定課題を基本にプラス応用力を競います。優秀成績者には賞状及び副賞を授与し、合わせてその事業主に対しても顕彰し、育成と雇用の努力に報います。

新人部門およびリーダー部門ともに30名の定員に達しました。8月30～31日(新人)、9月2～3日(リーダー)に開催される事前研修で、課題の詳細、大会出場に対する心得などが伝達され、それぞれに仕事もちながら練習に取り組むこととなります。JBNが大工をはじめとする人材育成に対して国の支援を強く働きかけていくためのステップとして、温かいご支援・ご声援をお願いします。



昨年のジャパンホームショーJBNコーナーで注目を集めた「大工技能研修」。

### 活動報告

#### ■前月号以降の活動

##### ○第0604回 常任理事会 8月6日(火) 15:00～17:00

出席者:役員3名、常任理事4名、監事1名、事務局2名 開催場所:JBN会議室

【あいさつ】

・青木会長

全国大会まで3か月になった。地元広島の方は盤石で動いてもらっており、あとは参加者数を動員することが重要。技能大会についても参加者の確保が重要。パンフレットもできたので、勧誘活動を積極化し、当初目標の500を確実にクリアしたい。協力会員の参加も大いに期待したい。JBNが認められる大きなステップとしたい。HPの中に大会専用のページを作るようにしたい。全国大会を成功させて世の中にJBNありと示したいと考えているので、皆さん方の協力を宜しく願いたい。全国組織としての体制固めのためにも常任理事会で採り、それを理事会にかけ決議する形にしたい。

・藤澤センター長

全国大会とあわせてジャパンホームショーへの展示コーナーへの出展要請を協力会員に対して説明会を開催してお願いしている。今回は、10月と11月の2回に開催されることになるので、若干の性格差があるが、JBN会員とのコミュニケーションの機会として、効果が相乗し、協力会員の参加メリットを具体的なものとして協議を重ねて行きたい。この2回をうまく連携し、効果が出るように全国組織JBNとしても取り組む必要がある。

#### 【主な議事】

- 1)HPリニューアルの件  
小林理事の進捗報告を承認、担当常任理事と連携をはかりながら進めることとした。
- 2)協力会員新規入会の件  
申請のあったA&Kホーム建材、ウッディーコイケ、三協立山三協アルミ社、日本ユニシス・エクセリションズ、イケヤ工業、GIR、橋本総業、トヨトミ、カナカケンテック、ティー・エス・シー、の計10社の加入を了承、正式承認は9月理事会。
- 3)7月末現在の会員増減の確認  
会員の増減状況とその要因について議論。なお、センターレポートへの会員数掲載についてはしばらく見合わせる事とした。
- 4)JBN連携団体に所属しない会員の取扱いについて  
該当会員に対する猶予期間、所属方法については、9月理事会で議論することとした。
- 5)JBN新潟県会長の推薦と任命の件  
以下の内容で9月理事会にて承認をとることとした。  
①JBN地域団体に関する規程を早急に整備し、それに基づきJBN新潟県会長として、近藤進氏を推薦し、会長が任命する。  
②任命条件等の詳細に関しては組織担当常任理事より伝達する。
- 6)情報セキュリティ・マネジメントシステム構築の件  
前回の診断結果をもとに、追診断を委託することとした。
- 7)大工育成WG設置の件  
了承、9月理事会にて承認することとした。
- 8)組織委員会設置の件  
了承、9月理事会にて正式に承認することとした。名称は組織理事会とする。

#### 次回 第0603理事会 9月17日(火) 14:00～17:00

終了後 協力会員との懇談会、懇親会を予定

**Japan Home & Building Show 2013**

第35回 **ジャパンホームショー**

第8回 **ふるさと建材・家具見本市**

第1回 **スマートハウス・エコハウス展**

2013年10月23日(水)～25日(金) 10:00～17:00  
東京ビッグサイト 東2・3ホール

主催: JMA 一般社団法人日本平準協会 一般社団法人リビングアメニティ協会  
共催: 一般社団法人日本建材・住宅設備業協会 一般社団法人リビングアメニティ協会  
一般社団法人住宅産業関係協会 一般社団法人日本建築業協会  
後援: 外務省 経済産業省 国土交通省 林野庁 日本建築業協会(ジャソ) (単位記号省略)

#### ●基調講演 (11:00～12:30)

23日(水)	24日(木)	25日(金)
健康住宅、健康コミュニティのデザイン 一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 理事長 村上周三	中古住宅の流通促進～今後の取り組みと今後の施策～ 国土交通省 住宅局 住宅生産課長 伊藤明子	大規模火災実験から考える大規模木造建築の可能性と課題 早稲田大学 創造理工学部 建築学科 教授 谷見雄二

### 事務局ダイアリー・会長の動き (7～8月)

JBN・HP 事務局ダイアリー		●事務局	■委員会・講習会	▲会長(白ヌキは予定)
7月	2日(火)	●協力会員との懇談会	▲国交省木造住宅振興室	
	3日(水)	●国交省施工能力向上補助事業申請締切	▲国交省住宅総合整備局へ	
	5日(金)	●省エネ講習会合同WG		
	6日(土)	▲デコス関東工場オープン祝賀会		
	8日(月)	●協力会員新規入会説明会 ▲同左		
	9日(火)	●JBN理事会 ▲同左		
	10日(水)	■大型木造研究委員会 ▲全木協・地域協議会47都道府県事務局長会議 ▲国交省木造住宅振興室と		
	11日(木)	●全木協・災害時応急仮設住宅建設協定締結(東京都) ▲同上 ▲木協全国協議会・技能者育成WG		
	12日(金)	●災害時応急仮設住宅建設協定打合せ(岡山県と全木協)		
	16日(火)	●国交省補助事業ヒアリング ●香川県庁と災害時応急仮設建設協定式(全木協)		
	17日(水)	■マーケット委員会(電通スマートホーム打合せ)		
	18日(木)	■中古住宅流通WG		
	19日(金)	■全国協議会省エネB講習会(愛媛・広島)		
	20日(土)	■全国協議会省エネB講習会(愛媛)		
	23日(火)	■全木協大分県協会仮設会議		
	24日(水)	●JBN認定品質住宅検査員講習会(仙台)		
	26日(金)	●JBN認定品質住宅検査員講習会(東京) ●省エネルギー施工技術研修会(B講習会・金沢)		
	27日(土)	●省エネルギー施工技術研修会(B講習会・金沢)		
	29日(月)	■大工育成WG		
	30日(火)	●賃貸住宅フェア2013in東京(ビッグサイト)		
	31日(水)	●JBN認定品質住宅検査員講習会(名古屋) ●賃貸住宅フェア2013in東京(ビッグサイト) ■環境委員会		
8月	1日(木)	●JBN認定品質住宅検査員講習会(大阪)		
	5日(月)	●JHS・JBN全国大会展示説明会 ▲国交省木造住宅振興室		
	6日(火)	●JHS・JBN全国大会展示説明会 ●常任理事会		
	7日(水)	●JBN認定品質住宅検査員講習会(香川) ▲既存住宅リフォーム長期優良住宅化検討委員会 ▲大型木造委員会 ▲応急仮設説明会		
	8日(木)	●JBN組織理事会 ■全国大会分科会連絡会議		
	9日(金)	●JHS・JBN全国大会展示説明会 ■JBN認定品質住宅検査員講習会(福岡)		
	13日(火)	●JHS・JBN全国大会展示説明会		
	19日(月)	■既存改修WG		
	20日(火)	●JHS・JBN全国大会メディア懇談会		
	21日(水)	■マーケット委員会 ■次世代の会		
	22日(木)	●JHS・JBN全国大会メディア懇談会 ■中古住宅流通WG		
	23日(金)	■既存改修委員会		
	30日(金)	□JBNマスターズ事前研修・新人部門(新潟)		
	31日(土)	□JBNマスターズ事前研修・新人部門(新潟) □全木協・東京都協会応急仮設住宅シンポジウム		

**JBN展示コーナー**  
JBNの取り組みと委員会の活動内容をパネル等で紹介し、担当者が詳しく説明にあたります。

**JBN協力会員連携セミナー**  
協カメディア:創樹社、日経BP社、日刊木材新聞社、日本住宅新聞社、新建新聞社、日本物流新聞社、住宅産業新聞社、リフォーム産業新聞社  
メディア協力会員をはじめ、さまざまな業種の協力会員とのコラボレーションによるこれからの地域住宅市場での展開について  
日程:10月23日(水)～25日(金)  
セッション数:12セッション(予定)  
定員:100名/セッション(予定)  
聴講:無料

**JBN協力会員展示ゾーン**  
「国産木材と木材利用ポイント」、「木造大型を支える金物」、「省エネ・環境と健康住宅」、「地盤調査と改良、液状化対策」、「業者必須の保険・金融知識」、「地域密着を補完するNET集客」など「テーマ必須」を行なう。併せてセミナープログラムと連動、重複効果を発現。

### JBNの沿革・組織

#### ■JBN(旧 工務店サポートセンター)の沿革

2013年8月現在

- 2007.11 JBN工務店全国大会開催、工務店憲章を中野栄吉相談役が宣言。
2008. 2 国土交通省の木造住宅総合対策事業の中に位置づけられる。
2008. 8 有限責任中道法人となる。代表理事に青木宏之。
2008.12 全建連事業委員会の中核事業とする。委員長に河井英勝。
2009. 3 衆議院内閣委員会で住宅改修等の的確な情報提供主体に位置づけられる。
2009. 8 一般社団法人となる。理事長に青木宏之。
2010. 7 JBN工務店全国大会「地域と工務店」開催、河井英勝理事長が大会宣言。
2011. 3 東日本大震災対策本部設置、本部長に和田正光。
2011. 4 応急仮設木造住宅建設協議会設立に参加、会長に青木宏之。
2011. 7 JBN工務店全国大会2011開催、テーマ「本来のあるべき省エネルギーへの道すじ」
2011. 9 一般社団法人全国木造建設事業協会設立に参加、理事長に青木宏之
2012. 4 JBNが全建連から独立、事務所を京橋へ移し、新体制に。住宅あんしん保証の認定団体に。
2012. 7 地域木造住宅生産体制強化部会が(一社)木を活かす建築推進協議会に設置、部会長に青木宏之。全国木造住宅生産体制推進協議会が発足、会長に青木宏之。日本住宅保証検査機構、住宅保証機構の認定団体に。
2012.10 定款変更を社員総会で承認。法人名称を「JBN」に変更、理事17名を選出し、理事会を設置。会長に青木宏之、副会長に河井英勝が就任。
2012.11 JBN全国大会2012 テーマ「全国組織JBNのさらなる進展に向けて」東京コンファレンスセンター・有明。
ジャパンホームショーにJBNゾーンとして協力会員と連携出演。
2013. 6 JBN第6期定時総会開催(青海・タイム24)。事業年度を4月1日より翌年3月31日とする。

#### ■一般社団法人JBN 定款

(2012年10月16日改定版から一部抜粋)

- 第1章 総則
(名称)第1条 当法人は、一般社団法人JBNと称し、英文ではJapan Builders Networkと表示する。
(事務所)第2条 当法人は主たる事務所を東京都中央区に置く。
2 当法人は、理事会の決議により従たる事務所を必要な場所に設置することができる。
(目的)第3条 当法人は地域工務店で構成される全国団体で、業務、技術、人材、品質、情報等の面から会員をサポートし、地域工務店とこれらを取り巻く関連事業者と共に業界を形成し、持続的かつ健全な発展をはかり、もって地域の良好な住環境の整備に貢献することを目的とする。その目的に資するために、次の事業を行う。
(1) 地域工務店の業務支援に関する事業
(2) 地域工務店の技術支援に関する事業
(3) 地域工務店の後継者及び人材育成に関する事業
(4) 地域工務店の業務に関する情報等の提供に関する事業
(5) 地域工務店の業務に関する研修・講習に関する事業
(6) 住宅・施工の品質に対する認証に関する事業
(7) 技術に関する資格認定試験の実施、資格の認定及び更新に関する事業
(8) 住宅履歴の管理及び活用に関する事業
(9) 損害保険代理業
(10) 特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律その他の法律により、住宅瑕疵担保責任保険法人が行う業務の取次に関する事業
(11) 住宅ローンの斡旋及び住宅ローンの事務手続きの代行に関する事業
(12) 前各号に掲げる事業に付帯関連する一切の事業
以下 省略

#### ■役員(理事・監事)

2013年8月現在

- 会長(代表理事) 青木宏之、副会長(代表理事) 河井英勝、サポートセンター長(理事) 藤澤好一
常任理事 大野年司(総務担当)、後関和之(財務担当)、西村慶徳(事業担当)、和田正光(組織担当)
理事 小林稔政、新町吉男、鈴木貴雄、武部豊樹、玉置敏子、深澤裕一郎、松井進、矢野久幸、山田一元、山田貴敏
監事 池田和好、中野栄吉

#### ◎社員会員(50音順)

2013年8月現在

- アイウッド㈱、㈱青木工務店、㈱アルボックス、㈱池芳工務店、㈱イコトー、㈱エコビレッジ、エコワークス㈱、大野建設㈱、岡庭建設㈱、笠原木材㈱、㈱加藤住建、後藤木材㈱、㈱小林創建、㈱近藤工務店、㈱坂下工務店、佐々木順建設㈱、㈱サン工房、(南)塩田工務店、㈱ジュンホーム、新産住拓㈱、(南)新町工務店、㈱鈴起建設、(南)住まいの相談室はしもと、㈱大喜、㈱大和工務店、武部建設㈱、(南)タケワキ住宅建設、㈱環建築工房、㈱中野工務店、㈱のみや工務店、日本ハウジック㈱、㈱ネストハウス、㈱ハイランドハウス、橋本建設㈱、日置建設㈱、㈱マツナガ、㈱マルダイン、(南)マルヒ製材、㈱丸山工務店、㈱安成工務店、(南)矢野工務店、㈱山田建設、㈱山田工務店、㈱吉田工務店、㈱吉田工務店、㈱LOHAS (以上49社)

#### ◎協力会員(50音順)

2013年8月現在

相澤銘木㈱、旭ファイバーグラス㈱、㈱アペルコ、㈱イエタス、イケア工業㈱、イデア住宅研究会、院庄林業㈱、㈱ウッディーコイケ、㈱ウッディワールドのぞき、㈱ウッドワン、㈱栄住産業、A&Kホーム建材㈱、㈱エーピーシー商会、SFA Japan㈱、エスクローファインナンス㈱、㈱エヌ・シー・エヌ、㈱エフ・ピー・ジャパン、㈱FPコーポレーション、㈱MIJ、オイレSCO㈱、OMソーラー㈱、㈱岡本銘木店、越智産業㈱、オムニ技研㈱、㈱カキプロ、㈱カナナイ、カナカケンテック㈱、㈱カネト、兼松日産農林㈱、㈱神清、環境創機㈱、㈱共和、㈱グランドワークス、㈱栗山百造、桑原木材㈱、越井木材工業㈱、㈱コスモプロジェクト、後藤木材㈱、㈱サトウ、佐藤木材㈱、三協立山㈱三協アルミ社、㈱GIR、㈱シームレス床暖房、G/REX JapAn㈱、㈱滋賀原木、(有)システムデザイン、㈱シップ、シップス・ジャパン㈱、ジャパン建材㈱、㈱住宅構造研究所、㈱住宅産業新聞社、㈱住宅性能評価センター、住宅保証機構㈱、㈱ジューテック、㈱住品協保証事業、㈱住宅あんしん保証、城東テクノ㈱、㈱新連新聞社、スミコーホームズ㈱、住友ゴム工業㈱、石州瓦工業組合、積水化学工業㈱(環境・ライフラインカンパニー住宅システム事業部、善徳丸建材㈱、㈱創樹社、征矢野建材㈱)、ソレックスカントウ㈱、㈱ダイドーハント、㈱匠の一番、㈱タナカ、㈱チタン、中国木材㈱、㈱つくば創研、㈱ティ・エス・シー、東海ゴム㈱、東京中央木材市場㈱、㈱東京木材相互市場、東洋テックス㈱、協同組合トパーン・テクノウツ、㈱トヨミ、ナイス㈱、ナカザフ建販㈱、㈱西村木材店、ニチハ㈱、㈱日林マテリアル、日刊木材新聞社、日経BP社日経ホームビルダー、ニココー㈱、㈱ニッチ、日本合板工業組合連合会、㈱日本住宅保証検査機構、㈱日本住宅新聞社、㈱日本物流新聞社、㈱日本マーケティングネクスツ、日本ユニシス・エグゼキュションズ㈱、ネクスツ・アイズ㈱、ハイビック㈱、㈱ハウジング・ソリューションズ、ハウスプラス住宅保証㈱、橋本総業㈱、発泡プラスチック断熱材連絡会、パナソニック電工リビング首都圏・関東㈱、㈱バル、東日本パワーファニング(㈱東京営業所、㈱フィナンシャル・インスティテュート、㈱井コンピュータアーキテクト㈱、プレアリーホームズ㈱、報国エンジニアリング㈱)、㈱細田工務店、ボラテック㈱、㈱マツナガ、㈱松本設計、丸宇木材市売㈱、㈱マルダイン、(南)マルヒ製材、㈱万代、㈱南商店、ミハマ通商㈱、宮川工機㈱、都田製材㈱、ミヤモリ㈱、モック㈱、(山)山長商店、(山)山西、(株)優良住宅ローン、(株)LIXIL営業カンパニー営業ソリューション企画部、(株)リビング・デザインセンター、(株)リフォーム産業新聞社、協同組合レングス、YKKAP(㈱営業本部営業企画部(以上129社))

#### ◎支援団体会員(入会順)

2013年8月現在

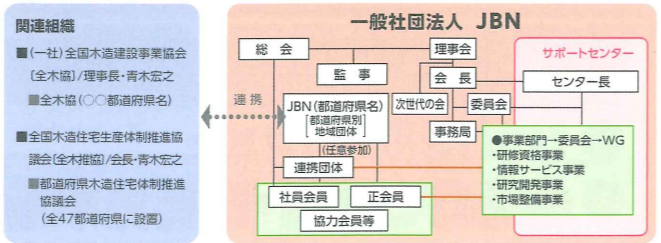
(公財)日本住宅・木材技術センター、(一財)建材試験センター、(一財)ベタリーピング、(公社)日本建築士会連合会、(公財)秋田県木材加工推進機構、(一社)パッシブデザイン協議会(以上6機関)

#### ◎連携団体会員(都道府県コード順)

2013年8月現在

アース21、青森県優良住宅協会、いそりの会東北北東北ブロック、岩手県中小建築業協会、宮城県優良住宅協会、秋田県建設技能組合連合会、山形県優良住宅協会、いそりの会東北支部、福島優良住宅建設協会、茨城県中小建築工業業協会、栃木県中小建築工業業協会、(協)群馬県木造住宅研究会、埼玉県建築協会、埼玉県建設労働組合連合会、(一社)埼玉県木材協会、埼玉土建一般労働組合、千葉県中小建築工業業協会、ちば木造建築ネットワーク、千葉県土建一般労働組合、むさし野木の家ネットワーク、住環境価値向上事業(協)、いそりの会、(協)匠の会、国産材を使った木造住宅を守る会、神奈川県木造住宅協会、神奈川県建設労働組合連合会、にいがた木造建築協会、越後杉での家づくりを考える会、富山県優良住宅協会、福井県木造住宅協会、(一社)山梨県木造住宅協会、(一社)信州木造住宅協会、長野県建築大工技能士会、岐阜県産直住宅協会、(一社)東海木造住宅協会、ぎふの木の住まい協議会、(一社)富士山木造住宅協会、(一社)静岡木の家ネットワーク、ロケットハウジングシステム協会、愛知県建設組合連合、(一社)愛知県建設団体連合会、(一社)滋賀県木造住宅協会、滋賀でいい暮らしえづくりの会、(一社)関西建築業協議会、(一社)近畿木造住宅協会、NPO法人環境共棲住宅「地球の会」、京阪神木造住宅協議会、山陰木造住宅協会、岡山県建築工業業協会、(一社)広島県工務店協会、(一社)山口県ビルダークスネットワーク、(協)徳島県木造住宅協会、徳島県西部建築協会、香川県総合建設センター、(一社)愛媛県中小建築業協会、(一社)高知県中小建築業協会、(一社)福岡県木造住宅協会、組合法人筑後地方建築業者組合、佐賀県建設業協会、九州家づくりの会、さがの木の家研究会、(一社)宮崎県建築業協会、鹿児島県優良住宅協会、沖縄木造住宅(協)(以上64団体)

#### ■JBN組織図



#### ■会員区分と年会費一覧

(2013年4月改定)

Table with 4 columns: 会員区分, 会員種別, 支援内容, 年会費. Lists membership categories like 正会員, 社員会員, 連携団体, and their respective fees.

\*1) 支援内容
① JBN センターレポート・各種案内、協力会員資料送付(毎月1回)
② 各種講習会の受講、各委員会への参加及び関係機関委員会への委員派遣(参加資格要審査)
③ サポートセンター発行物・マニュアル・パンフレット配布
④ 各種認定工法利用・各種制度利用
⑤ 各種サポート、いそり・かるて、各種保険特典割引利用

### 第5期 2012年8月1日から2013年3月31日まで 事業報告概要

#### 1.一般事項

##### (1)組織

#### ○JBN(都道府県)設立の状況

北海道・山形県・福島県・茨城県・栃木県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・静岡県・長野県・愛知県・岐阜県・三重県・広島県・山口県・徳島県・高知県・福岡県・大分県・宮崎県計21都道府県

##### (2)定期開催会議

#### ○第5期定時社員総会 2012年10月16日(火)

(審議事項)第4期事業年度決算承認の件/第5期事業年度事業計画及び予算計画承認の件/定款一部変更の件/入金金及び会費等規定制定の件/理事17名選任の件/監事2名選任の件/理事及び監事の報酬額設定の件

#### ○理事会

第0501回 理事会 2012年10月16日(火) 於JBN事務局会議室 (審議事項)代表理事の選定の件/会長・副会長の選定の件/サポートセンター長の選定の件/常任理事の選定分掌の件/ブロック制と担当常任理事の件/地域団体と代表者の件/事務局人事の件/名誉会員の件

第0502回 理事会 2012年12月11日(火) 於JBN事務局会議室 (審議事項)新規会員の入会の件/工事補償制度の取り扱いの件/理事の地域ブロック担当の件/JBN都道府県会長及びJBN都道府県事務局委嘱の件

第0503回 理事会 2013年3月12日(火) 於JBN事務局会議室 (審議事項)新規会員の入会の件/理事選任の件/JBN都道府県会長委嘱の件/JBN就業規則の施行の件/第6期事業計画の基本方針について/第6期定時総会の件

#### ○役員会

第0501回 2012年8月21日(火) 於JBN事務局会議室
第0502回 2012年9月11日(火) 於JBN事務局会議室
第0503回 2012年10月16日(火) 於JBN事務局会議室
第0504回 2012年11月13日(火) 於JBN事務局会議室
第0505回 2012年12月11日(火) 於JBN事務局会議室
第0506回 2013年1月16日(水) 於JBN事務局会議室
第0507回 2013年2月12日(火) 於JBN事務局会議室
第0508回 2013年3月12日(火) 於JBN事務局会議室
(報告事項および審議事項)省略 本誌各号に概要記載

#### ○JBN全国大会 2012年11月15日(木) 於東京コンファレンスセンター

テーマ「全国組織JBNのさらなる進展に向けて」

#### 2.事業

##### (1)会員支援(サポート)事業—講習会開催

#### ○長期優良住宅普及事業22回 684名

Table with 4 columns: 講習会名, 開催地, 参加者総数. Lists training events such as 'JBN-長期優良住宅型認定利用講習' and '長期優良住宅の壁量計算セミナー'.

#### ○リフォーム支援事業8回 298名

Table with 4 columns: 増改築相談講習, 長野, 10名; 性能向上リフォーム講習, 山形・東京・愛知・大阪・広島・熊本, 280名; 地域リフォームリーダー講習, 東京, 8名.

#### ○JBN認定品質住宅(瑕疵担保責任保険法人適用)事業2回 14名

Table with 4 columns: JIO瑕疵担保保険講師養成講習, 東京, 4名; 住宅保証機構瑕疵担保保険講師養成講習, 東京, 10名.

#### ○JBN仕様認定事業13回 378名

Table with 4 columns: 移住・住みかえ支援適合住宅セミナー, 東京・大阪, 72名; ハウジングライフプランナー資格取得講習, 東京・大阪・熊本, 60名; 木造軸組工法による省令準耐火構造JBNサポートセンター仕様利用講習, 神奈川・愛知・福岡, 97名; 木造軸組工法による省令準耐火構造JBNサポートセンター仕様利用講師講習, 東京, 17名; JBN省令準耐火構造と木造住宅の防湿JBN仕様利用講習, 東京, 127名; 木造軸組工法による省令準耐火構造JBNサポートセンター仕様利用講師講習, 東京, 5名.

#### ○保険事業

(地盤調査)-460件 (住宅瑕疵担保責任保険)
・住宅あんしん保証-129件、日本住宅保証検査機構-1,913件、住宅保証機構-419件、ハウスプラス住宅保証-2件(工事保険)-30件(火災保険)・省令準耐火JBN仕様適用-115件

#### ○資格・研修(人材育成)事業

・JBNインスペクター(検査員資格) 545名
・大工育成研修 新人部門(新潟・東京)、リーダー部門(新潟・東京) 各2回 35名
・国産材委員会主催セミナー(東京・大阪) 4回 196名

#### ○住宅履歴管理サービス(いそり・かるて)事業

Table with 4 columns: 登録数, 2012年8月1日, 2013年3月31日, 増減. Row for いそり・かるて: 4,026, 4,637, 611.

#### ○情報提供事業

1).定期発行(毎月末)「サポートセンターレポート」(刊行) 3,500部
2).定期発送(毎月初)セミナー・講習会案内、関連資料等
3).ホームページによる情報発信
4).緊急、重要情報 一斉FAX送信

#### ○事業成果物などの刊行事業

内容省略(本誌8ページにて紹介)

#### 3.補助事業

- 国土交通省「木造住宅等の施工能力向上・継承事業」
・既存住宅の長期優良住宅化を見据えた性能向上リフォームへの取り組み
・現代規矩術による次世代大工育成システムの構築
・木造住宅の構造計画の実施と地域の支援体制の構築とリーダーの育成
○林野庁「地域材供給倍増事業」
・中大規模木造建物等の普及促進のための構造部材の開発
○環境省
・家庭工コ診断推進基盤整備事業に係る民間企業等試行実施事業

#### 4.委員会活動

- 次世代の会
○国産材委員会
○既存改修委員会
○環境委員会
○大型木造研究委員会
○マーケット委員会

#### 5.関連機関との連携事業

##### (1).一般社団法人全国木造建設事業協会

「災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定」を以下の都道府県と締結した。
2011年 徳島県10月9日
2012年 高知県1月1日、宮崎県2月22日、愛知県3月16日、埼玉県3月29日、岐阜県8月21日
2013年 長野県1月24日、愛媛県2月6日、秋田県5月7日、広島県5月15日、東京都7月11日、香川県7月16日

##### (2).全国木造住宅生産体制推進協議会

1.地域住宅産業創成に向けた検討
2.地域型住宅ブランド化事業の推進
3.住宅省エネ技術の普及推進体制の整備

#### ■第5期 貸借対照表 (単位)

2013年3月31日現在

Balance Sheet table comparing 2012 (2012年8月1日から2013年3月31日まで) and 2013 (2013年3月31日現在). Columns include 科目, 金額(円).

#### ■第5期 正味財産増減計算書 (単位)

2012年8月1日から2013年3月31日まで

Statement of Changes in Net Assets table comparing 2012 and 2013. Columns include 科目, 金額(円).

※本ページでは年号は西暦、会議開催回は事業年度としました。

長期優良住宅の普及のためのサポート体制の整備

長期優良住宅への取り組み

先導モデル事業(2008-2010年度)

- 「日本の木で、日本の技で、日本の家」
●JBNモデルとして提案し、採択されました。
●各年度の提案に対し、それぞれ500棟が採択され、あわせて1500棟すべてが完成し、引き渡されました。

JBN長期優良住宅国産材モデル「展示住宅」

- 全国で25棟、2010年度はじめに完成オープンし、活用されています。

普及事業(2009年度)、木の家整備促進事業(2010-2011年度)

- 地域の中小住宅生産者による長期優良住宅への取り組みを促進する補助事業では、先導および普及事業におけるJBNモデルでの経験、実績をもとにJBNサポートセンターがサポートしました。

地域型住宅ブランド化事業(2013年度)

- 国土交通省が2012年度からスタートさせた「地域における木造住宅生産体制強化事業」の一つで、地域型の長期優良住宅を生産供給するグループに対する補助事業。昨年度は2回に分けて募集され、延べ740件の応募がありました。今年度の採択は、応募数482件のうち、480件でした。それらのうち、JBNサポートセンターがシステム等で支援するJBN関連のグループは下表のとおりです。

この事業のねらいは、地域工務店と関連事業者(地域材等資材供給から設計・施工まで)が緊密な連携体制を構築し、地域資源を活用して地域の気候・風土にあった良質で特徴的な「地域型住宅」の供給に取り組むことを支援するもので、地域における木造住宅生産・維持管理体制の強化を図り、地域経済の活性化及び持続的発展、地域の住文化の継承及び街並みの維持・保全、木材自給率の向上による森林・林業の再生等に寄与することにあります。

長期優良住宅の普及のためのサポート

刊行物の発行

- 「長期優良住宅マニュアル(申請編)」、「(建材編)」、「(住宅履歴情報編)」先導的モデルの実績をもとにマニュアル類の作成
「長期・ちきゆう住宅 工事仕様書」の刊行
「ともに生きる家」2008年度500棟から選ばれた26事例による消費者向けのガイドブック
「型式認定工法利用マニュアル」 その他、8ページ参照

説明会、講習会の開催

- 全国各地で普及のための会員向けの説明会、申請および技術面の講習会を実施しました。
●顧客向けのパンフレットを作成し、セミナー&説明会を行ってきました。
●第5期については、5ページ参照

型式認定の取得

- JBN長期優良住宅国産材モデル(プレカット型) 2010年度
●JBN長期優良住宅国産材モデル(手刻み型) 2011年度

支援体制の構築・整備

- 申請業務支援事業
長期優良住宅の申請図書作成および申請、住宅履歴情報の作成に関わる業務のサポート
○住宅情報サービス事業「いえもり・かて」
JBNサポートセンターでは、これら住宅履歴情報を一定の基準・様式にもとづく適切なデータとして登録し、管理できる住宅履歴情報管理システムを整備するとともに、工務店と住宅所有者の認証と住宅履歴情報への登録をサポートする「情報サービスセンター」機関(愛称-いえもり・かて)を開設しています。

「いえもり・かて」は、「住宅履歴情報(愛称-いえかて)保管・閲覧サービス機関」と利用契約をした公的登録機関です。
○JBNインスペクションシステム「JBNインスペクター」
長期優良住宅など住宅ストックの価値向上とそれを担うJBN工務店の人材の能力向上のためにJBNサポートセンターが独自に研修・認定する資格制度です。数年来の準備が整い、2012年度よりスタートしました。

JBNが住宅瑕疵保険の特定団体として認定され、運用を開始したのは(株)住宅あんしん保証、(株)日本住宅保証検査機構、住宅保証機構(株)、ハウスプラス住宅保証(株)の保険法人4社です。あわせて「JBN認定品質住宅制度」の団体検査員(JBNインスペクター)として、講習と登録(カードの発行)が始まりました。

この制度で規定する団体検査員の資格は、JBN正会員企業に所属し、以下の条件を満たし、所定の講習を受講した上で、JBNサポートセンターに登録された方となります。

- 新規の場合は、建築士(1級・2級・木造)有資格者
●他に諸条件あり

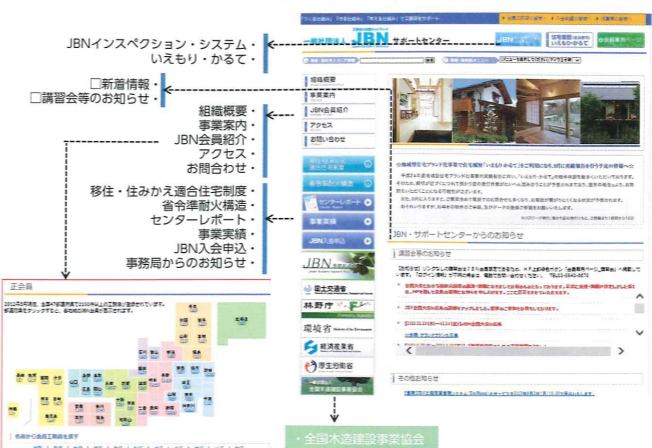
地域型住宅ブランド化事業(2013年度)JBN応募グループ一覧

Table with 15 columns: No., 申請グループ名, 地域型住宅の名称, 特徴とする点(\*1), 使用する木材(\*2), 構成員(\*3)(うち施工), 配分戸数. It lists various housing groups and their specific characteristics and materials.

(\*)1回答による。長期優良住宅の認定基準を満たした上で、特徴とする点●、うち特に重視する点◎ (\*2)回答による。(\*3)回答による。グループ全体の構成員(うち施工者)の事業者数

情報の発信・交流の活動

WEB ホームページから最新情報が迅速に入手できます。コンテンツの主要インデックス(トップページ)



確かで役立つ情報を毎月、定期報「工務店サポートセンター・レポート」でお届けしています。

- 時々の話題、トピックス、役員会・理事長の動向、委員会報告、連携団体紹介など。お知らせ欄では、講習会・セミナーなどの開催案内、刊行物などを掲載しています。
●毎月末または月初めに新しい資料類とともに会員のお手元へ直接届くように発送しています。



第1号(創刊準備号 0906) 第5号(定期刊行化 0912) 第40号(組織名称変更 1211)

青木会長の対外活動 2013年4月現在

- (一社)全国木造建設事業協会(全木協)理事長/(一社)木を活かす建築推進協議会(木活協)理事/全国木造住宅生産体制推進協議会会長/(公財)住宅木材技術センター評議員/(一財)ベターリビング(BL)評議員・優良部品監査委員/(一社)住宅履歴情報蓄積活用協議会 副会長(代表理事)/(一財)建築環境・省エネルギー機構(IEBC)評議員/同スマート&スリムプロジェクト委員/(一社)リフォーム・評価ナビセンター 監視委員/(公財)日本合板検査会 評議員/(一社)評価協長期優良住宅の検証委員/(公財)木材保存協会・劣化対策委員/(独行)住宅金融支援機構・仕様書作成委員等

JBN 会員の動態、動向に関する統計

- (1)「中大規模木造建築に関するアンケート調査」大規模木造研究委員会
2012年6月実施(FAX) 回答総数は511件
林野庁の2012年度地域材供給倍増事業「木造中高層建築物等の部材開発等支援事業」に採択されたのを受けて大型木造研究委員会では、地域工務店が参画できる中規模木造建築の構造モデルと横架材等の部材および接合部開発に取組み、普及のための設計施工指針等の作成に向けて、開発目標を明確にするためJBN会員に対してアンケートを実施した。(概要は本誌No37に掲載)
(2)「リフォーム工事に関するアンケート調査」既存改修委員会
2013年2月実施(FAX) 回答総数は441件
パリアフリーから始まった性能向上リフォームの取組みをさらに長期優良住宅リフォームを見据えた実務、ビジネスレベルの技術、情報、システムとしての成果を出し、広く研修会などを通じて啓蒙活動を推進する目的で、委員会が行うヒアリング、講習会に重ねて実施した。JBN会員企業の事業内容(売上金額、組織、リフォーム工事比率など)とあわせて、リフォーム工事の動向(工事内容、重要度など)、JBNおよび委員会への要望などを調査した。(概要は本誌No46に掲載)
(3)「若手大工の雇用・育成に関するアンケート調査」大工育成WG(設置準備段階)
2013年4月実施(FAX) 回答総数は447件
JBN全国大会in広島2013「第1回 大工エキスパート JBNマスターズ」の開催に向けて、若年大工の確保・育成、能力評価、処遇と定着動向を把握する目的で実施した。あわせて、これら課題について全国組織・JBNがどう構想し、構築に向けた活動が展開できるかの検討材料とする。

- 新卒者の正規社員としての採用 育成・積極的に進めたい(20%)/適材がいればやりたい(58%)/そのつもりはない(17%)で、大勢が前向き。しかしながら、JBNが昨年度実施した「短期集中型(3泊4日程度で年3~4回開催)の規矩術(差し矩使いによる墨付け)の研修については、大いに期待したい(35%) /どちらともいえない(47%) /その必要はない(7%)と評価された。(概要は本誌No.47に掲載)。

JBN 全国大会

- 2009年11月12日 於・東京ビッグサイト「ル・バルク」
●2010年 7月27日 於・すまいるホール
テーマ:「環境と地域工務店」
基調講演:「エコハウスの計画とCASBEE」村上周三氏とシンポジウム
●2011年 7月19日 於・新宿ワシントンホテル「ウエストシティ」
テーマ:「本来のあるべき省エネルギーへの道すじ」
基調講演:「ライフスタイルの変遷と東日本大震災後の「省エネ像」」秋元孝之氏とシンポジウム
●2012年11月15日 於・東京コンファレンスセンター「有明」
テーマ:「全国組織・JBNのさらなる進展にむけて」

ジャパンホームショーでは工務店サポートセンターのコーナーで JBN 工務店の存在をアピールしています。



2010年 出展



2011年 出展



2012年 出展

2012年は前年同様の21コマのJBNブースの他に25コマを確保し、中大規模木構造開発モデル、若手大工による実技コーナー、次世代の会によるJBNベンチマーク・セミナーをはじめ、協力会員企業の展示ブース、パネル展示コーナーを設け、JBNの活動とネットワークを来場者に広く情報発信した。オープニングで青木会長は「われわれ業界のモデルであるアメリカのNAHBが主催するビルダーズショーに近い展示、運営形式を目指した。その新しい歴史に踏み込む記念すべき3日間にしたい」とスタッフに挨拶した。

その他の出展

- 2013年5月24日(金)~26日(日)
朝日 住まいづくりフェア2013 於・東京ビッグサイト
●2013年7月30日(火)~31日(水)
賃貸住宅フェア2013 in東京 於・東京ビッグサイト